

第5日目 関西方面 奈良1日目



一度、島しょ会館を後にし、関西方面へと向かいます。品川駅で各自駅弁を購入し、朝ご飯として新幹線で食しました。

車窓からは、事前学習で学んだ東海道五十三次の浮



世絵を思い描きながら令和の風景を楽しんでいたようです。富士山は、無事に見ることができたでしょうか……。

京都駅で近鉄特急に乗り換え、いざ奈良へと向かいます。奈良には二日間滞在し、歴史や美術の教科書に出てくる有名な寺社仏閣をほぼすべて見て回ります。



この日の奈良の最低気温は、13℃。内地の秋の寒さを感じながらのうわしの奈良巡りのスタートは、興福寺から。国宝阿修羅像で有名な興福寺では、木造千手観音菩薩立像や天燈鬼、龍燈鬼立像なども鑑賞しました。スーパースターの阿修羅だけでなく、八部衆がそろって見られる機会を存分に味わっていました。また、平成の再建でよみがえった中金堂も見ることができました。例年に比べ圧倒的に観光客が少ないので、ゆっくり、じっくりと伽藍（がらん：寺院にある塔、お堂、門などの建築物の集まりのこと）を巡りました。

東大寺では、運慶・快慶の金剛力士像が鎮座する南大門で鎌倉彫刻のダイナミックさや力強さに圧倒されました。南大門をくぐり抜けた先の大仏殿では、コロナウイルス対策で名物の柱くぐりができませんでしたが、廬舎那仏坐像の大きさ、柔和なお顔、迫力の手に思わずため息がもれていました。

